

10・21 国際反戦デー港合同学習会

『原発・戦争・ファシズム』



一〇月二十一日、田中機械ホールに於いて国際反戦デーの学習会が行われました。

司会は恒例の中村副委員長が務められました。

国際反戦デーの取り組みは、一九六六年一〇月二十一日に当時の総評が「ベトナム反戦統一スト」を実施し、港合同もストライキをもって集会・デモに積極的に参加し、以降、四〇年を超えて一度

も欠かす事無く続けられてきた活動です。

今年の学習会では、この間の学習会ではお馴染みの大阪労働者弁護団・永嶋弁護士を講師に迎え、「原発・戦争・ファシズム」というお題で講演していただきました。

いつものプロシエクターを使った学習会をイメージしていましたが、不調で使えなかった事は残念でした。外部スピーカーを使って流された自民党の石破前政調会長の演説で、原発政策が核抑止力にとって重要だと述べていたことや、イラクやアフガンでの戦争でアメリカ本国からテレビゲーム



のように無人爆撃機で無差別に大量殺戮していることや、ペンタゴンへのネット攻撃にはミサイルで反撃すると述べている事が印象に残りました。

このような横暴は許されてはいけません。反原発・反戦争の闘いを広げていかなければならないと思いました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！